## 全国子ども会安全共済会 〈医療共済金〉 請求書兼事故証明書

_ ·‡																	
・お住いの市町村子連にご提出ください。 ・被共済者が未成年(18歳未満)の場合は親権 者が請求者になります。						È	単位子ども会のの子ども会										
						È	単位子ども会番号 ○○○										
		•	なりまり。 請求者本人≀	よ <b>ミ</b> ≘コ ユ	1 747 ++ 33	<b>≠</b> <del>≠</del>		. –	<b>—</b> 1		\ <del>-</del>		"	<i>L</i>	+ // 10 1		
				••			Ī	节 区	町木	1 等 子	· 連 🔾	00市	子と	も会え	里給1	刕議会	Ì
			日・年齢・性				-添	<b>えて</b> :	共洛	金を請	求しま	₹đ.					
			及び受領に関				- //1//			31Z C UR	3,00	· J o					
必要な場合は〈共済様式〉28の委任状を提出してください。						で請求日 令和 6 年 9 月 15 日											
(		ر ۱ <sub>۰</sub>										== ++ -+	<u>∠/</u> ት 5⊆ (	I- [] I	"		
<u> </u>	11	//1	愛知県〇〇市		0-0						O Ŧ	請求者	ョ1生かい		/		
請							被	佳	È	所	'						
求	氏	名	音羽 達也			印	共										
者	\						済					V22 1					1_
	連続	格 先	OXX1 -	23		1212			Į.	名	音羽	翔太				性別	男
		済者 続柄	本人・親権者	・その	自署の場					月日		年 5				5	年
添付	t (1	)	領収書(写)		5	_枚	3 [	医療報	<b>设告</b> 書	<b></b>	」の書類	領がない	場合。	費用	は自己	(負担)	
書類		診療明	細書  報の取扱いに <sup> </sup>	71.77	の同音書	枚	4	その他	<u>t</u>								
					グロ 息音 豊協・漁協・労	<b>台全。</b> (			in:	うた 上針	3/二				※かつ	3桁)	\
お振込	先 —						請,	杖者∫	以外	の口唇	でも問	問題あ	りまも			31117	
金融機	纓	00		通預金以外 場合( )	口座番号								, , ,		-		
回座名義(カタカナ) オトワ タツヤ (例:親、祖父母、兄弟等)																	
<災害状況報告書兼事故証明書欄> 管理者氏名神田隆 年齢 55 歳子ども会の役職会長(ソフトボール監督等も可)																	
管理	者氏	名 神E	田隆		年齢	55	歳	子と	ŧź	ミの役	:職会	長(ソ)	フトボ	、一ル!	監督等	等も可	()
事	改 日	令和	6 年 8 月	10 📙	(土)	時刻		10:30	)	事故日が十	日祝・春夏	冬休み以外	学校:	行事の	代休、	開校記	念日
発 生	場所	OO小	学校 グラウ	ンド						の日で、休	日となった	理由	その	他			
行	± 7																
	<b>∌</b> ~~	ソフト	ボール練習							就学	前3年以	以下の	安全	共済会力	加入	右	4111
天	<ul><li>多</li><li>会</li><li>候</li></ul>		ボール練習		参加者数		25		名	被共	は済者の	場合	の保	護者の同	司伴		無
	候 事故	晴れ ソフト	ボールの試合		東習中、ヒ	ットを打	Jって	ファ	ース	被与	ț済者の スからt	場合 2カント	の保	護者の同	司伴		
	事故 発生	晴れ ソフト	ボールの試合に、右足がセン		東習中、ヒュ	ットを打たり、な	Jって ブキっ	ファ と音	ース がし	被与	は済者の スからも てしまっ	場合 2カント	の保	護者の際スに対	引件 予り込	しんだ。	
天	展 事故 発生 の	晴れ ソフト その際 アイシ	ボールの試合に、右足がセン	カンド/ 子を見た	東習中、ヒッ ベースにあが こが、なか7	ットを打 たり、ク なか痛み	Jって ブキっ yが引	ファ と音 かな!	ース がし <sup>-</sup> いの	被対 トベープ て捻っ で翌日炯	は済者の スから t てしまっ 病院に?	場合 セカント った。 <sub>テった。</sub>	の保	護者の際スに対	引件 予り込	しんだ。	
天事	事故 発生	晴れ ソフト その際 アイ 果、	ボールの試合:に、右足がセ: ングをして様: 足首の骨折と:	カンドク 子を見た 診断され	東習中、ヒッベースにあから さが、なかっ でた。ギプ	ットを打 たり、ク なか痛み	Jって ブキっ yが引	ファ と音 かな!	ース がし <sup>-</sup> いの	被対 トベープ て捻っ で翌日炯	は済者の スから t てしまっ 病院に?	場合 セカント った。 <sub>テった。</sub>	の保	護者の際スに対	引件 予り込	しんだ。	
天事故の	展 事故 発生 の	晴れ ソフト その際 アイシ 果、右 (傷病	ボールの試合 に、右足がセジングをして様 と首の骨折と いまでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	カンドへ 子を見た 診断され 右足首・	東習中、ヒッドースにあれ こが、なかれ れた。ギプン	ットを打 たり、ク なか痛み	Jって ブキっ yが引	ファ と音 かな!	ース がし <sup>-</sup> いの	被 トベープ で 翌日 昭 観 察	t済者の スから t てしまっ 病院に行 で現在 Z	場合 2カント った。 うった。 入院中。	で保	護者のドスに対	<sup>副伴</sup>	込んだ。	0
天事故の原	展事故発生の状況	晴れ ソフト その際 アイシ 果、右 (傷病	ボールの試合 に、右足がセングをして様 と首の骨折と いまでは、傷病名 を機関名1	カンドへ 子を見た 診断され 右足首 〇〇整	東習中、ヒッドースにあからが、なかった。ギプン 骨折	ットを打 たり、ク なか痛み スで患音	Jって グキっ が引 『を固	:ファ· と音;  かな!  定し、	ース がし <sup>-</sup> いの	被 トベープ で 翌日 昭 観 察	は済者の スから t てしまっ 病院に?	場合 2カント った。 うった。 入院中。	で保	護者の「スに、トゲントゲン	同伴	込んだ。 近の結 月 31	
天事故の原因と	候 事発の沢 治の	晴れ ソフト その際 アイシ 果、右 (傷病	ボールの試合 に、右足がセングをして様 と首の骨折と いまがし、傷病名 療機関名1 治療の経過	カンド/ 子を見た 診断され 右足首 <sup>・</sup> OO整	東習中、ヒッドースにあかった。ギブラー 骨折 形外科	ットを打たった。 たか痛み スで患き の結果、	Jって ブキっ 外が引 塚を固 右足	ファ· と音: かな() 定し、	ース が い の 、 経	被力 トベーンで認用が 過観察・ 診	は済者の スからす。 てしまで 病院に行 で現在之 療期間	場合 2カント った。 うった。 入院中。	の保 レン 10	護者の「スに、トゲントゲン	同伴	込んだ。	
天事故の原因と経	事発の状 治の経	晴れ ソフトのイン アイン (傷縁	ボールの試合に、右足がセングをして様にと首の骨折といい。 家部位)傷病名 療機関名1 治療の経過 と状況	カンド/ 子を見た 診断され 右足首 <sup>・</sup> OO整	東習中、ヒッドースにあからが、なかった。ギプン 骨折	ットを打たった。 たか痛み スで患き の結果、	Jって ブキっ 外が引 塚を固 右足	フとおなし、	ーがいの経済 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	被サーバーで認知を でで翌日祭 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は済者のスかられてしまき、病院に行って現在スケー・原院に行って現在スケー・カウル・カウル・カウル・カウル・カウル・カウル・カウル・カウル・カウル・カウル	場合 型力と。 うけった。 うけった。 うけった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りたった。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 り	の保 レン 10	護者のドスに対している。	同伴 骨り込 少検 1   	えんだ。 配の結 月 31 、経過	量観
天事故の原因と	   事発の状   治の経及   療の過び	晴れ ソフトのイン アイン (傷縁	ボールの試合に、右足がセングをして様にを首の骨折といる。 傷病名療機関名 1治療の経過と状況 療機関名2	カンド/ 子を見た 診断され 右足首 <sup>・</sup> OO整	東習中、ヒッドースにあかった。ギブラー 骨折 形外科	ットを打たった。 たか痛み スで患き の結果、	Jって ブキっ 外が引 塚を固 右足	ア音なり、	ーがい、 ・ 参療する	被サートでで選出の 一で過報察 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は済者のスかられて、病院に行うで現在となった。 療期間 から60 ださい	場合 ピカント ってった。 一 一 一 一 の 一 一 一 の 一 に の 一 に の 一 に の に の	の保 レン 10	護者の「スに、トゲントゲン	同伴 骨り込 少検 1   	込んだ。 近の結 月 31	
天事故の原因と経	事発の状 治の経	晴れ ソフトのイン アイン (傷縁	ボールの試合に、右足がセングをして様に、右足がもとである。 (足首の骨折と) 傷病名療機関名 1治療の経過療機関名2治療の経過	カンド/ 子を見た 診断され 右足首 <sup>・</sup> OO整	東習中、ヒッドースにあかった。ギブラー 骨折 形外科	ットを打たった。 たか痛み スで患き の結果、	Jって ブキっ 外が引 塚を固 右足	フとか定	- がい、 参 素 ※ 601	を対してで過程察では、 を対してで過程のでは、 最終している。 を対している。	は済者のられて、大きで現在で、原規をしている。 かられて かいまに かいい かい ださる 場	場合と対している。日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	の保 バー レン 10   対に <b>軽延</b>	護者のドスに対している。	同伴 骨り込 少検 1   	えんだ。 配の結 月 31 、経過	量観
天事故の原因と経	   事発の状   治の経及   療の過び	晴れ ソフトのイン アイン (傷縁	ボールの試合: に、右足がセングをして様に、右の骨折というをして様に (大きない) 傷病名療機関名 1治療の経過と状況療機関名2治療の経過と状況	カンド/ 子を見た を見た を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記さる をこるる をこる。 をこるる をこる。 をこる。 をこるる をこるる をこる。 をこるる をこるる をこるる をこるる をこるる をこる をこる	東習中、ヒッド・ファイン (まか) で (	ットを打 たい。 たなか、 なスで ま の お果、 B月31E	ファイン ファイン ファイン かいまい かいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい こうかい かいまい こうかい こうかい こうかい こうかい こうかい アイス	フとか定   	- がい、 参 素 ※ 601	を対してで過程察では、 を対してで過程のでは、 最終している。 を対している。	は済者のられて、大きで現在で、原規をしている。 かられて かいまに かいい かい ださる 場	場合 ピカント ってった。 一 一 一 一 の 一 一 一 の 一 に の 一 に の 一 に の に の	の保 バー レン 10   対に <b>軽延</b>	護者のドストゲン	9件   Pop   Pop	Aんだ。 近の結 月 31 、経過	量観
天事故の原因と経過	   事発の状   治の経及   療の過び	晴れ ソフトのイン アイン (傷縁	ボールの試合に、右足がセングをして様に、右足がもとである。 (足首の骨折と) 傷病名療機関名 1治療の経過療機関名2治療の経過	カンド/ 子を見た を見た を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記され を記さる をこるる をこる。 をこるる をこる。 をこる。 をこるる をこるる をこる。 をこるる をこるる をこるる をこるる をこるる をこる をこる	東習中、ヒッド・ファイン (まか) で (	ットを打 たい。 たなか、 なスで ま の お果、 B月31E	ファイン ファイン ファイン かいまい かいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい こうかい かいまい こうかい こうかい こうかい こうかい こうかい アイス	フとか定   	- がい、 参 素 ※ 601	を対してで過程察では、 を対してで過程のでは、 最終している。 を対している。	は済者のられて、大きで現在で、原規をしている。 かられて かいまに かいい かい ださる 場	場合と対している。日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	の保 バー レン 10   対に <b>軽延</b>	護者のドストゲン	同伴 骨り込 少検 1   	Aんだ。 近の結 月 31 、経過	量観
天事故の原因と経過事故	事発の状 治の経及状   対状   次状   次状   次状   次状   次状   次状   次	晴れソイカー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー	ボールの試合: に、右足がセングをして様に、右の骨折というをして様に (大きない) 傷病名療機関名 1治療の経過と状況療機関名2治療の経過と状況	カンド/ 子を見た 診断され 石足首 〇〇整 レント 察で5	東習中、ヒュ 東習中、ヒカ でした。 でした。 電子 でした。 電子 では、 でがいた。 でがいでが、 でがでがでが、 でがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでがでが	ット を が	ファイン インタック できません 一日 以降 古足に 完	フとか定	- がいの	大で過せる。 大きでいる。	は済者のけるでで、原則においたぎ成して、	場合 2カント っテった。 8 月 3 日 以 ら合は いったった。 6 は 1 ください	の保 バー レン 対に <b>軽延</b> ハ。	護者のドスに対して、	<b>副性</b>	No.	量観
天事故の原因と経過事書	事発の状 治の経及状 状部   対の   対の   対の   対の   対の   対の   対の   対	晴れ ソそア果 (傷線) 全 打撲	ボールの試合に、	カス カス カス 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	東晋中、ヒッド・アット を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ッたなス トりかで たなス D結果、 BB月31E an 腕腔 ・ 野 ・ 野	コート では、	フとか定 首治 	-がい。 	大で過れている。 大は翌朝祭 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一で過れている。 一でのでは、 一でのででは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのででは、 一でのでは、 一ででは、 一ででは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一ででは、 一ででは、 一ででは、 一ででは、 一ででは、 一ででは、 一ででは、 一ででは、 一ででは、 一でででは、 一ででは、 一ででは、 一ででは、	は済かしたで、療がかだぎ成ります。 かんだぎ 成りません かだるし 事	場合 型力たった。 のうう院中。 8 がい。合ください。 の場合	が レ 10 対	護者の「No A C T C M C T C M M M M M M M M M M M M M	<b>3</b> 間	上 い た に の 結 月 31 、 経 込 月 り 、 の よ り 、 ろ し 、 ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ	日 <b>日</b> 日
天事故の原因と経過事書	事発の状 治の経及状 状部   対の   対の   対の   対の   対の   対の   対の   対	晴れ ソそア果、 (傷線) 全 打撲ポー	ボールの試合に、	カ子診 右 O レ察	東晋中、ヒッド・アントボール (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	ッたなス トりかで <b>DAME</b> <b>BAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b> <b>SAME</b>	コープ・オング である できます できます できます できます できます できます できます できます	フとか定 首治 い 部 ・ に に に に に に に に に に に に に	ーがい、	大で過せる。 大は翌観を日書をはいる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一で過せる。 一でのものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	は済かし 病で 療は かいだぎ成 事地 のたさるし 事地 のた	場合 型力 力 力 大 の で の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の の の に の の に の の に に の に に の に に の に の に の に の に に の に の に の に の に に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	一 ベレ 10 上に 延い 3 、 段は	護 スト 日 を に が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	<b>3</b> 間	上 い た に の 結 月 31 、 経 込 月 り 、 の よ り 、 ろ し 、 ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ	日 <b>日</b> 日
天事故の原因と経過(傷症・毒害状	事発の状   治の経及状     状部 分     分     ( 以 部 分 )   ( )	晴れりでいます。「「はいっぱ」では、「はいっぱっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱ」では、「はいっぱっぱ」では、「はいっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	ボールの試合に、 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない	カ子診 右 O レ察	東晋中、ヒッド・ファイン では、	ッたなス トりかで 結果、E の 高、腕脱ルール が の に の に の の の の の の の の の の の の の	フィン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイ	フとか定 首治 野・レッコー	ーがい、	大で過せる。 本は記録では、 一の日察では、 一の日客では、 一の日客では、 一の日客では、 一の日本では、 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは	以済 かし がし 原見 がし 原見 がし に在 間上 の ださる し 事地 、 あい まに も に し に も る に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に る に も も も に も も に も も に も も も も も も も も も も も も も	場合 フラート B フラート B	10 対 遅い 、	護者に対してをしている。	<b>3</b> 間	上 い た に の 結 月 31 、 経 込 月 り 、 の よ り 、 ろ し 、 ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ	日 <b>日</b> 日
天事故の原因と経過(傷症・毒害状	事発の状   治の経及状     状部 分     分     ( 以 部 分 )   ( )	晴れ フのイ、 傷 診 全 打 スフア 身 撲 ポッス	ボールの試ができる。 では、アンダーのではないでは、アンダーのではないでは、アンダーのでは	カ子診 右 O レ察	東晋中、ヒットでは、ボール・アラー・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド	ッたなス トりかで	フィッラ では、	フとか定 首治 郭・レッそ	ーがい、	大で過せる。 本は記録では、 一の日察では、 一の日客では、 一の日客では、 一の日客では、 一の日本では、 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは	以済 かし がし 原見 がし 原見 がし に在 間上 の ださる し 事地 、 あい まに も に し に も る に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に る に も も も に も も に も も に も も も も も も も も も も も も も	場合 型力 力 力 大 の で の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の の の に の の に の の に に の に に の に に の に の に の に の に に の に の に の に の に に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	10 対 遅い 、	護者に対してをしている。	<b>3</b> 間	上 い た に の 結 月 31 、 経 込 月 り 、 の よ り 、 ろ し 、 ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ よ ろ	日 <b>日</b> 日
天事故の原因と経過(傷症・毒害状	事発の状   治の経及状     状部 分     分     ( 以 部 分 )   ( )	晴れフのイ、(傷)診 全打スフア運会 関ボッス動き 関 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ボールの試合に、 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない	カ子診 右 〇 レ察	東マートでであった。 では、	ッたなス DB月 ふ 腕脱ルー・炊たなス DB月 3 ・日 ルス飯 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	フィッラ では、	フとか定 首治 郭・レッそ	ーがい、	大で過せる。 本は記録では、 一の日察では、 一の日客では、 一の日客では、 一の日客では、 一の日本では、 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは 一のは	以済 かし がし 原見 がし 原見 がし に在 間上 の ださる し 事地 、 あい まに も に し に も る に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に る に も も も に も も に も も に も も も も も も も も も も も も も	場合 フラート B フラート B	10 対 遅い 、	護者に対してをしている。	<b>3</b> 間	上 い た に の 結 月 31 、 経 込 り り し い る よ り し い る よ ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ ら よ	日 <b>日</b> 日
天 事故の原因と経過 (傷症 活 都) が道	事発の状   治の経及状   坎部分   分   原   過び況   況 位 類   類   ・	晴 カフのイ、 ( 原 シ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボー、グラのでは、アングのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラの	カ子診 右 O レ察	東でした。 中でした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 ででででででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ッたなス DB月 ふ 腕脱ルー・炊たなス DB月 3 ・日 ルス飯 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	フィッラ では、	フとか定	一がい、	大で過せる。 大で過せる。 で過せる。 最を日書を記を求しる。 全で過せる。 は記を求しる。 というで過せる。 は記を求しる。 はい。 はいる。 もい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい	はない。 東京のはでである。 東京のはでは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 でのは、	場合 フラート B フラート B	一	護ストローを一て、およい。	<b>別性                                    </b>	A んだ。 原の結 月 31 、 月	日 <b>日</b> 日
天 事故の原因と経過 (傷症 活 都) が道	事発の状   治の経及状   坎部分   分   分   仮   故生の況   療の過び況   況 位 類   類	晴 カフのイ、 ( 原 シ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボー、グラのでは、アングのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラの	カ子診 右 〇 レ察	東でした。 中でした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 ででででででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ッたなス DB月 ふ 腕脱ルー・炊たなス DB月 3 ・日 ルス飯 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	フィッラ では、	フとか定	一がい、	トてで過じる。 を対してで過じる。 を対してのである。 を対してのである。 は記してのである。 は記してのである。 は記している。 は記している。 はいるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	はない。 東京のはでである。 東京のはでは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 でのは、	場合というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	一	護ストローを一て、およい。	<b>別性                                    </b>	A んだ。 原の結 月 31 、 月	日 <b>日</b> 日
天 事故の原因と経過 (傷症 活 が確) 諸害 状 動 道確	事発の状   治の経及状     坎部 分   分   原欄   似 生の況   療の過び況   別 位 類   類 ・ 4 確	晴れ フのイ、 (	ボー、グラのでは、アングのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラのでは、アングラの	カ子診 右 O レ察	東マー東できた。 東マース・ボール で	ッたなス DB月 3 ・ PD・ P・	T	フとか定	「かい、	大で過せる。 大でで過せる。 最を日書を記を求し路確認は、 はいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	以下ので 療りかだぎ成 事地、作 あいまに在 間しらい場て ものとしが 事地、作 ものとしが のたしが のたしが のたしが のたしが のたしが のたしが のたしが のたしが のたしが のたしが のたしが のたりであるし のたしが のたりであると のたりでも の	場合というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	■	護スト 日 で と に が に の の の に の に の に の に の に の の に の に の に の の の に の の の に の の の に の の の の に の の の の の の の の の の の の の	<b>別性                                    </b>	A んだ。 原の結 月 31 、 月	日 <b>日</b> 日

市区町村等	受付日	担当者
子連使用欄	9月17日	共済

市町村子連担当者は、受付日と市町村子連担当者を漏 れなく記入してください。